

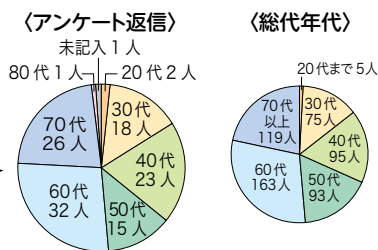


発信 往来

コープあいち通信を読まれた総代のみなさんの感想や
総代どうしの交流のコーナーです。

コープあいち通信を読んで

11月号のアンケートは118通お寄せいただきました。……
ありがとうございます。一部をご紹介します。



総代になった理由は何ですか

♪ まわりの組合員の意見などを生協に届け、生協がより広まり身近なものになってほしい。コロナ禍でも、安全・安心を届けてくれている生協の力になりたい。いつもありがとうございます。（江南市 20代）

♪ 戦後、よりよい暮らしと平和のためにと再建された生協は、戦争に巻き込まれ、長い間苦しい生活をした家庭に育った私にとって本当に心強い存在です。生協に加入して以来ずっと、その時々ができる平和の取り組みをしてきました。生協の組合員活動は、「どんな意見も平等に言うことができる」「違う意見も尊重して聞くことができる」という素晴らしい伝統があります。人生の終盤になり、自分ではいろいろできなくなりましたが、若い組合員のみなさんのご意見に耳を傾けたいです。（瀬戸市 70代）

♪ 生協愛です。なくてはならない生協に少しでも貢献したいと思いました。私が特に気になっているのは、愛用店であるコープ岡崎北の赤字危機です。お店がなくなるのは本当に困ります。私でできることがあれば協力したいです。（岡崎市 40代）

♪ 今年度、地域委員会の代表を引き受けたことで、地域の総代との交流も必要だと思いました。幸いこの地域のみなさんはコロナ禍でも、心が一致していて世代交代も可能になってきています。活動や思いを次の方へスムーズに引き継ぐために、今年度の状況を把握しておきたいと思いました。（南区 70代）

♪ 商品の企画に興味があり、どのような流れで商品ができるのか不思議に思っていました。組合員と職員が定期的に集まり、

アイデアを出し合っていることを知り、私も少しでも力になれたらうれしいと思いました。（緑区 50代）

♪ 組合員になったのは、50年ほど前に旧めいぎん生協の共同購入の利用がきっかけでした。30年ほど前には、近所にコープなかつがで、現在に至るまでコープのお店は日々の食卓を支えてくれる存在です。当初より生協の理念（食の安全、環境、平和）に賛同しつつ、地域活動の一つとして、仲間と共に「お店委員会」を立ち上げ、お試し隊や産地見学、学習会などに参加してきました。今年はコロナ禍で活動が自粛されていますが、あらためて生協の存在価値を思い、お店の存続を願って利用者としてかかわっていければと思ったからです。（千種区 70代）

ガッテン!コープ! 店舗

♪ お店をよく利用するので、お店に関する記事はうれしいです。私の住む地域はコープの広告チラシが届きません。LINEのお友達登録でとくくカレンダーなどのお得情報が送られてくるようになり、とても重宝しています。最近、LINE限定の配信クーポンを楽しみに利用しています。（日進市 50代）

♪ 「陳列棚の手前から買おう」というポスターは他のスーパーなどでは見かけませんが、消費者へ嫌みがなく心に響く呼びかけなので感心しました。（東海市 30代）

♪ 生鮮食品の廃棄物を生ごみにしないで液状に加工し豚のエサにすることや、バイオ発電に利用していることを知り、その取り組みに生協の実践力を感じました。（豊川市 70代）

まごころサポート便

♪ まごころサポート便のような緊急生活支援事業を行われていたことを初めて知りました。心から賛同します。ニュースなどで、この混迷の時期で日常の食事にすら困っている人たちがいるということを耳にしても、個人の力では何をすればよいかわかりませんでした。生協の事業として行われているので、私に協力できることは協力したいです。（豊橋市 60代）

♪ 生きていく上で必要な食の提供、本当に素晴らしい取り組みです。コロナ禍で、コープは組合員の利用金額が増加していると思います。その分をこうした地域への貢献することは、SDGsのめざす方向性に一致していると思います。他の市町村にも広がっていくといいなと思いました。（大府市 30代）

特別対策店

♪ 自宅の近くにはコープのお店がありませんが、いろいろな活動でコープいわくらへ行くことがあります。コープいわくらは近くに大型商業施設があるため、生き残りをかけた対策が必要です。小型店独自の特色を出す必要に迫られていると思います。（稲沢市 70代）

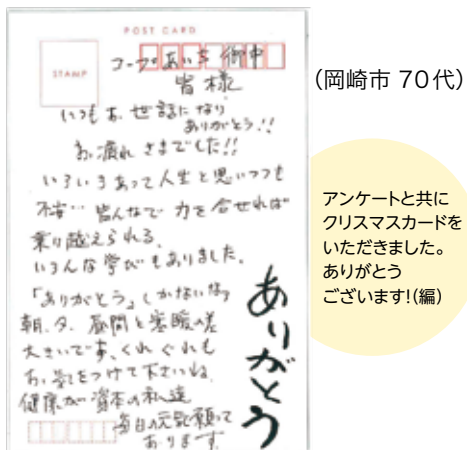
総代交流会

♪ 初めて総代交流会に参加し、今あるコープのしくみなどは、すべて組合員や総代、職員など多くの方々の“声”を“かたち”にしたたまものなのだとことが分かりました。私もいろいろなこと目に向けていきたいです。（春日井市 30代）

役員・職員の紹介

♪ 写真入りの役員紹介がよかったです。実際にお会いしたことはありませんが、笑顔のすてきな役員の方々に元気をいただきました。私の住んでいる地域を担当する役員のお顔が分かりうれしいです。（豊橋市 60代）

♪ テレビを見るたびに、コロナウイルス感染症拡大ニュースばかりで気持ちが落ち込んでしまいます。最近、友達にすすめられて協同組合の成り立ち、歴史の中でどのように発展してきたかなどが書かれた本を読んでいます。自然の猛威や社会の中での困難なことを協同して解決してきたのは400年前からとのこと。その長い歴史から考えるとコロナウイルス感染症も何とかなるさと思うこのごろです。理事長、副理事長のメッセージが心に響きました。（中村区 60代）



ご意見をお寄せください
Web上の「アンケートフォーム」からも投稿していただけます。写真の投稿もお待ちしております。

コープあいち通信

1・2月号
2021年1月15日発行 No.114



総代および地域で活動する組合員にお届けしています。

生活協同組合
コープあいち 編集発行
機関運営・広報部
TEL 052-703-6022・FAX 052-703-3387
Webサイト <http://coopaichi.tcoop.or.jp/>

CONTENTS

総代交流会・各地の話題 P2
ブロック連絡会・理事会報告 P3
ガッテン!コープ! P4・5
発信往来 P6

新年明けましておめでとうございます

2021年、みなさまはどんなお正月を迎えられましたでしょうか。

私たちの生活は新型コロナウイルスで一変しました。私も、年に一度の里の母との孝行旅行をキャンセル、ささやかな食事会になりましたが大喜びしてくれました。お節料理は黒豆煮にも挑戦!鉄玉子®を購入して簡単レシピ通りに作り、まずまずの出来栄でした。黒豆に限らず、その他のお節料理や余ったお節の利用法などみなさんのおススメレシピがあれば、ぜひお聞かせください。

コロナ禍は、私たち人間に大変な苦痛や問題をもたらしましたが、一方で相手を気遣ったり、助け合う心が育まれました。昨年4月、コロナで学校が休校になり、給食停止で余った牛乳をみんなで利用することで酪農生産者を救おう!の呼びかけに、2割増(1週間約8.6万本→12万本)の組合員のみなさんの利用がありました。「こういう企画を待ってました!」の声もいただきました。また、急激な供給増で欠品、抽選など組合員のみなさんには大変なご不便とご迷惑をおかけしましたが、にもかかわらずそれ以上に配達職員の思い遣る言葉やたくさんの励ましがありません。組合員も職員も生産者・メーカーもお互いに、相手の喜ぶ顔が見たい、少しでもお役に立ちたいという思いでできることを寄せ合う、これが“困ったときはおたがいきま”を旨とする生協のよさ、温かさだと実感しています。

同時に、コロナ禍は「モノには限りがあること」「当たり前のありがたさ」も教えてくれました。そのことにより私たち消費者の行動にちょっとした変化も生まれています。まだまだ先が見通せない中ではありますが、相互扶助こそコロナ禍に左右されない人間の生きる力として大切なことではないかと思ひます。みんなでできることを持ち寄ってたくさんの笑顔をつくっていきましょう。

本年もみなさまにとって幸多き一年となりますようお祈り申し上げます。



地球に優しく
人に優しく
行動する1年に!!

生協があつて
よかったと
思われる、
事業と活動を
めざします。

組合員のくらしに
モ〜っと
お役立ちが
できるように
頑張ります!

専務理事
みのうら あけみ
箕浦 明海

常務理事
さかくち ひろし
坂口 博

理事長
もり まさひろ
森 政広

理事長「年頭のあいさつ」は
ウィズコープ1月号で
ご覧いただけます

新しい生活様式にも
対応できる事業を
めざします。

理事
おの しゅうぞう
小野 修三

2021年 新年の抱負

ふだんのくらしのしあわせ
が、ぎゅつ(牛)とつまった
1年に!!

常勤理事
にしお としのり
西尾 俊範

理事
こまい よしあき
駒井 義明

心を燃やして、
困難に向かいいたい
と思います。

コロナ禍、協同組合
としてできることを
考え、行動する1年に。

常勤監事
いそむら たかき
磯村 隆樹



聞かせて！みんなの声！

もっとくらしに役立つコープあいちに
総代交流会を開催

11月11日(水)～11月27日(金)
35会場 303人参加 参加率55.1%

SDGs

11 住み続けられるまちづくりを

17 パートナリシップで目標を達成しよう

2021年度総代の活動が始まり、初めて集う場が開催されました。新型コロナウイルス感染防止のためブロック連絡会同様に託児を設けませんでした。Web会場を2日間設け、画面を通じて、しっかり発言いただくことができました。交流会で出された意見は来年度の方針や計画づくりに生かしていきます。いただいた意見の一部を紹介します。

1. 宅配事業

- 緊急事態宣言が発出されて自宅で自粛している期間、週1回のなにげない会話がとてもありがたかった。利用してよかったと思える瞬間だった。
- e-フレンズなど利便さは分かるが、いざ自分でも思っても心配でできない。講習会などあれば、もっと登録も増えるのではないかな。
- もっとポイント制度をたくさん活用してほしい。ポイント2倍とかのサービスをどんどん取り入れていくと利用する側もっと購買意欲がわくと思う。
- 宅配で回収するリサイクルのルールがよく分からない。加入時は案内してもらっていると思うが、Web加入などは対面でないので伝わりにくいのでは。あらためてルールを分かりやすく案内するチラシを作ったり、e-フレンズのトップページからリサイクルの案内欄やその他お知らせページを見ることができるようにしてほしい。

2. 店舗

- LINEの活用が始まり、情報が分かり大変便利。
- 特別対策店の事業継続に関する基準をどう見直していくのか？
- 小型店は職員との関係がよいので気に入っている。また、恵美など地場の野菜も入るようになりうれしい。
- 買い物の仕方が変わってきている。PBなど各社知恵を絞ってきている。生協の価値が問われている。

3. 福祉・共済

- コープ共済はくらしに優しい月掛金で保障がよいが、65歳以上の保障が薄い。高齢者の組合員も増えているので、制度をもっと充実させてほしい。
- 福祉のことを知っている方が少ないので、福祉のことをもっと知ってほしい。
- コープでベッドを借り、いろいろ利用させていただいている。ぜひ生協で介護している人たちが経験を話し合えるような場をつくっていただけないかな。

東三河ブロック 蒲郡市民会館会場

各地の話題

■稲沢市と「子育て支援に係る連携・協力に関する協定」を締結 11月13(金)

地域、企業、さまざまな人たちが子育てにかかわるしくみをつくります

地域をよく知り、幅広い年代の方と直接会う機会が多い特長を生かし、今後も稲沢市と一緒に子育てを安心して行える地域づくりに取り組んでいきます。



写真右から:加藤市長、森理事長

各地で行われているコープの組合員活動や事業所での取り組みを紹介します。

4. 商品

- 商品の取り組みがもっといろいろな人に伝わることを望んでいる。子どもに伝えていくには教育現場だと思うので、産学連携の取り組みが広がってほしい。
- コープヌードルのレッドカップキャンペーンなどの取り組みは、協力をしたと思ったら期間が過ぎていた。担当者からもアナウンスをしてくれるといいなと思う。協力していきたい。
- 動画を見てSDGsがよく分かった。商品カタログを見ているときに、対象商品のマークに気づきにくい。分かりやすい工夫をしてもらえるとよい。
- コープ商品がテレビで取り上げられていた。学校給食がなくなって牛乳が余ったことへの支援に、後から一般スーパーで同様のことがされていた。生協と生産者のつながりを感じた。

5. 組合員活動

- コロナ禍で組合員活動はどうなるのか?という情報がなかなか届かなかった。
- フルタイムで働いている人が活動できる場がなく、ほとんど不可能に近い。そういった人たちをどのようにしていくのが課題だと思う。
- ブロック連絡会で提案のあった活動費、交通費等について総代にいていぬ説明がないのではないかな。総代にも事前説明が必要。

6. その他

- 減資の件は、予定とあるが決まったことか。また、減資を年間何度もしている人には個人案内して、ていねいに説明していかないと現場で混乱すると思う。
- 食をすることすなわち健康につながり、作り手、消費者の交流がすすむことを願う。SDGsの取り組みはすすめてほしい。
- 総代になると生協を知ることができ、世代の違う方と交流もでき若い方にもぜひ総代になってほしい。楽しくいろいろな話題ができることを知ってもらいたい。
- 初めてのWeb参加で不安だったが、事前に連絡があり練習できてよかった。若いお母さんが子どもさんと参加していたが、家庭の雰囲気も伝わってきてほほえましかった。これからZoom活用すれば、今まで参加しにくかった人もどんどん参加できると思う。



尾張東ブロック パルティセと会場

第2回 ブロック連絡会を開催 持続可能な組合員活動について交流がされました



7ブロック全会場で121人が参加しました。コロナ禍の中、感染症拡大防止を考慮した対策のもと、理事会からの情報提供、持続可能な組合員活動に向けた「組合員参加と運営のしくみ(柱2)の見直し」について意見交流を行いました。

出された意見

「コープあいち組織運営方針の改定」について

- 生協の活動も世の流れにつれて変わっていく必要があるのだろう、分かる。そして予算にも限りがある。しかし、生協は商品販売のみではない。人と人との交流…やはり見えないことに大切な声がひそんでいるような…考えていこう、お互いに。
- 「組合員活動の考え方」について、「楽しく交流」とあるが、苦勞もしながら地域のために行ってきた活動もあり、市役所と生協をつなぐ役割もしてきた。地域活動の評価をまづきちんとしてほしいし、組合員活動は楽しいだけでなく、身近な地域のことを相談できる場とすることを明記してほしい。
- 何年先のことを考えると活動費削減ではないように思う。土をつくっていかないとおいしいものも育たない。将来、子どもたちの代も活動できるようなあり方を。
- 高齢世帯グループにもWeb学習の場をつくってほしい。

支援のしくみについて

- SNS、インターネット、YouTubeなどの活用について、使えない人へのサポート、共有のサポートなど充実させてほしい。
- 生産者・メーカーと協力してインターネットでつながる学びのしくみ、動画にて工場見学ができればいいと思う。
- 定例会をWebでできないところは、宅配センターに行きパソコンで参加すれば、全てのグループでWeb活動ができるのではないかな。生協活動が長い方は、新しいことにチャレンジしてほしい。

「組合員参加と運営のしくみ(柱2)の見直し」について

コープグループ(仮称)について

- グループ単位が3人になったのは、参加しやすくなってとてもよいと思う。
- コープグループの中に地域委員会が入り、横並びとなり、これまでの地域委員会の役割(組合員活動の横のつながりなど)はブロック協議会で担い、地域課題はコープグループと相談・連携していくという提案について、今の地域委員会に対しては、今までどおり変わらずにやってもらえればよいと思うが、そんな単純な話ではない。

ブロック協議会について

- 参加を広げたい企画などは、実行委員会を立ち上げて実施している。そういったことを協議会で協議いただけるとよいと思う。
- ブロック協議会は任期2年までで継続した議論ができるのか。代表参加されないグループの情報提供などはどうなるのか。

会議・活動費補助について

- 活動費が欲しくて活動しているわけではないが、活動の広がりをつくれるとは思えない。今まで取り組んできたことが評価されていないのかと思った。
- 補助については「なんのため」にやっているかで意識が変わってくる。生協のためなのか、地域のためなのか、自分のためなのか。自分たちの地域をよくするためなら補助がなくてもやる。活動グループごと、根本に帰って、何のためにやるのか、この機会に考える機会にしてはどうか。
- 今後10年20年、組合員活動が持続していくようにとの提案で組合員参加を支援する制度・しくみをカットしていくのは、これまでの活動を否定するように思われると感じた。しかし、今の時代、これまでと同様に活動する人が果たして続いていくのか?と思う。組合員でいること(商品を購入すること)＝興味のある活動を自主的にすること…ではないのでは?若い人にそのような活動をしていく意志があるのか?たすけあいの会の活動も同様で、会員を増やしていけない同様の現実がある。
- 活動費補助をポイントで還元し、利用につなげたらどうか。
- お金の補助があったほうがうれしいし助かるが「当たり前」になってはならない。補助がなければ「やれない」なら解散するグループだと思う。今が整理するときなのでは。新しい方は、既存のグループに入りにくい。新しいグループができることを期待。

理事会報告

理事会で議決したこと、および協議したこと、報告された主な内容を報告します。

■第6回理事会報告 2020年11月10日(火)

協議や報告したこと

1. 店舗政策について協議しました。
店舗事業の10年総括を踏まえ、今後の店舗のあり方に向けた課題整理と店舗政策の考え方について協議しました。
2. 2020年10月度決算および事業活動について報告しました。
10月度の決算は、供給高51億125万円 予算比115.0% 前年比123.4%、総事業高は54億3839万円 予算比113.8% 前年比121.7%、経常剰余金1億9317万円の結果でした。
3. 年度末の経営見通しと剰余金活用の考え方について協議しました。
年度末の経営見通しについて宅配供給高が引き続き高止まりしていることから、コロナ禍の不安が続く中で組合員のくらしへ貢献できるよう剰余金活用について協議しました。
4. 役員報酬にかかわる制度の現状と今後に向けて報告しました。
2020年度役員報酬検討委員会の提言を受けて、役員報酬に関する検討を行うにあたり、現状や課題を報告しました。

ガッテン! ユープ!

vol.4
共済

みなさん、「コープあいち」と聞くと、何をイメージしますか？
コープあいちでは、宅配やお店以外にも福祉・共済など幅広い事業や、商品活動・組合員活動を行っています。これらの事業について組合員のみなさんからいただいたご質問にお答えします。さまざまな事業を知ること、コープにガッテン!

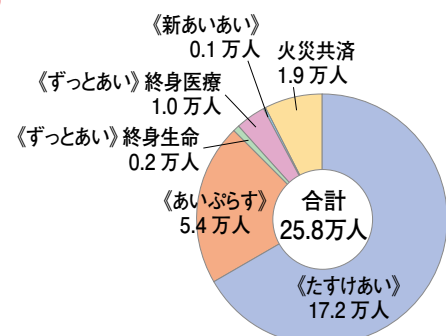
第4回目は、「共済」についてです。

※予告していた「組合員活動」は都合により変更しました。



Q.1 コープあいちでのCO・OP共済の状況が知りたいです

A.1 CO・OP共済加入者数(2020年10月20日時点)



出典元: 共済事業データ2020年10月より

共済金 お支払件数(2019年度)

支払共済金	コープあいち 当年度累計件数
《たすけあい》	31,205
《あいぶらす》	4,496
《ずっとあい》終身生命	5
《ずっとあい》終身医療	1,296
合 計	37,002

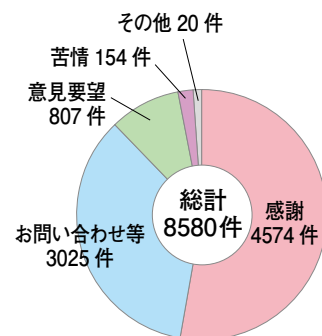
出典元: 共済事業データより

コープあいちの組合員51.6万人のうち、25.8万件加入いただいています。CO・OP共済に加入したくて組合員になる方もいますよ♪

1年間に、3.7万件、約18億円の共済金お支払いをしました。特に高いのが《たすけあい》で、約5.6人に1人が共済金の支払いを受けています。お子さんがいる世帯へのお役立ちが多いです。

組合員の声(2019年度)

1週間あたり、コープあいちに平均で約150~170件の「組合員の声」が届きます!

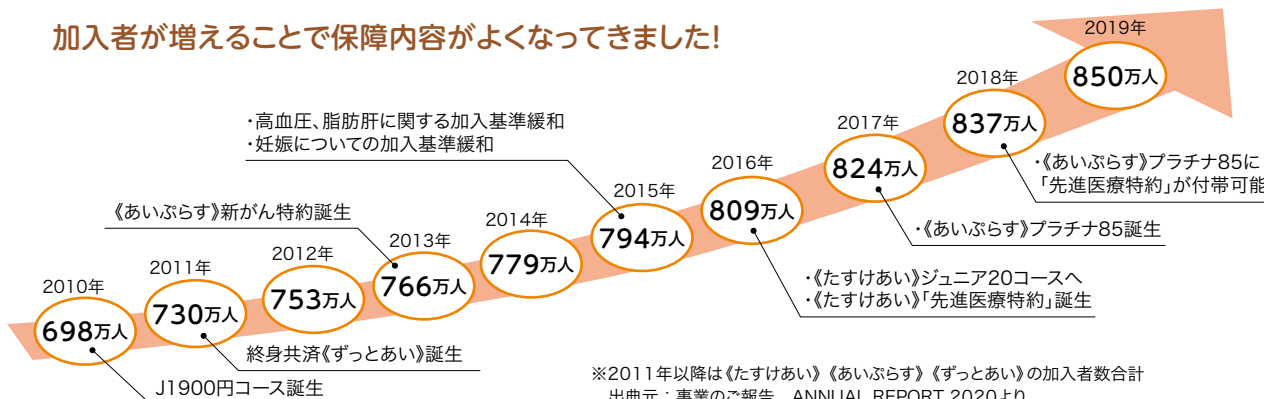


昨年は、8,580件の声や要望をいただきました。よりよいCO・OP共済にするために「組合員の声」をぜひお聴かせください!

Q.3 実際にどんなお役立ちができていますか

A.3 CO・OP共済は、目に見えないコープ商品! 組合員の声で開発や制度改善ができます!

加入者が増えることで保障内容がよくなりました!



Q.2 共済って、保険と何がどのように違うのですか

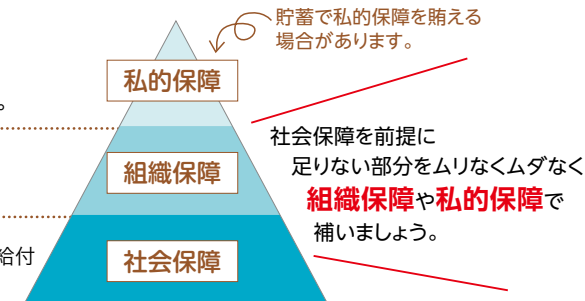
A.2 保険は不特定多数の人が加入、共済は同じ目的を持った組合員のみが加入でき、組合員に寄り添い使える保障が充実

生協は利益の追求ではなく、くらしの向上のために、同じ目的を持った者(組合員)が集まり、おたがいに助け合う組織です。CO・OP共済は組合員どうしがたがいに「たすけあう」精神をもとに保険のしくみを使って行う、組合員のみが加入できる組織保障です。組合員の「声をカタチに」することで、よりよい保障への改善・開発がすすみ、

くらしに一番近いところで、実際に使える保障を実現させてきました。CO・OP共済は日常の保障に手厚く、保障の幅も広いです。また共済金請求が簡単で支払いがスピーディな点も特長です。組合員の立場に立った保障というのも生協の組織保障だからこそなのです。

「社会保障」を前提に

- 1 まず考えたいのが「社会保障」です。公的年金から遺族年金などの給付があり、健康保険から医療費の7割分などの公的負担があります。
- 2 次に、勤務先や地域で加入できる「組織保障」があります。CO・OP共済もそのひとつです。
- 3 それでも足りない部分は民間の保険など「私的保障」で補いましょう。



生協では、くらしの保障やお金について学ぶことで、よりよいくらしを実現するというライフプランニング活動を行っています。家庭での備えを見直すことは、わが家のライフプラン実現に向けて、きっと大きな力となると 생각합니다。



村上 浩子さん
コープサポーター
(ライフプランアドバイザー)

ファイナンシャルプランナー AFP
組合員の立場で組合員の
ライフプランニングについてのアドバイスをし、
くらしのお金全般についての専門知識をもつ

ご提案するときに大切にしていることは、組合員の立場に立った保障を案内することです。年齢、家族構成によって必要な保障はさまざまです。必要のない保障は「必要ない」と伝えるようにしています。共済専任の仕事に誇りを持ち、日々取り組んでいます。



小牧センター共済専任 森 政浩

相談内容で一番多いのは保障の見直しです。加入されている他の保障の更新時期やお子さんが生まれたときなどのご相談です。医療保障や生命保障、住宅の保障など、組合員のみなさんのくらしを守るご提案をしています。

生活協同組合 コープあいち
お問い合わせ先
CO・OP共済専用 0120-50-9431
CO・OP火災共済はこちら 0120-6031-43へ
営業時間 9:00~18:00 月~土(祝日含む) ※年末年始はお休みとなります
契約引受団体/日本コープ共済生活協同組合連合会

たすけあいの心をお届けします

異常災害見舞金の主なお支払い実績
(2011年~2020年3月20日)

発生年	震災	異常災害見舞金額 (千円)
2011年	東日本大震災	2,008,850
2011年	長野県中部地震	6,050
2013年	淡路島地震	2,960
2014年	長野県北部地震	1,210
2016年	熊本地震	237,500
2016年	鳥取県中部地震	6,690
2018年	大阪北部地震	31,380
2018年	北海道胆振東部地震	17,830

異常災害見舞金制度とは

CO・OP共済《たすけあい》《あいぶらす》《ずっとあい》終身生命・《ずっとあい》終身医療のいずれかにご加入されている契約者世帯に対して地震・噴火・津波などによって住宅に一定以上の被害があった場合にお見舞金としてお支払いをする制度です。



2016年 熊本地震お見舞金活動

早期復興のお役立ちができるように契約者のお宅や避難所を訪問し、共済金請求手続き案内や請求受け付けを行う契約者訪問活動を実施してきました。

なぜ生協が共済を扱うの？
まだまだ伝えきれない
情報はこちら



ガッテンして
いただけましたでしょうか。
次回は「夕食宅配」です。